

50周年記念特別展

10月23日～12月5日、「宮之城を中心とする川内川中流域の変遷」特別展が歴史研修センターで開催されました。

特別展では、この夏に発掘された資料や「宮之城」の地名が初めて確認された古文書など、県内各地より本町にゆかりの深い古文書や絵図資料の約100点が展示され、多くの来場者がありました。

また11月7日には、五味克夫・有馬英子両氏による講演会も開催され、宮之城とその周辺地域の歴史や文化についての話に、来場者は熱心に聴き入っていました。



多くの来場者で賑わう特別展

歴史教室

6月に開講した平成16年度歴史教室が12月の第7回で閉講しました。

教室では、宮之城の歴史・民俗・文化財の学習や発掘体験、文化財めぐりなどが行われました。また、本町在住の桑波田敏光先生や新聞でおなじみの所崎平先生、上田耕先生が伝統芸能や山城についてわかりやすく講義され、受講生は熱心に説明を聴いていました。受講生の中には、宮之城のことをもっと知りたいという方もいました。



上田先生の講義

PTA研究大会

12月4日、今年で14回目を迎える「宮之城町PTA研究大会」が町文化センターで開催されました。

本大会は、学校・家庭・地域が互いに連携を深めながら、21世紀を担う心豊かなたくましい子どもの育成を図ろうと、本町のPTA連絡協議会が毎年主催しており、今年度も、PTA関係者を中心に約300人の参加がありました。

まず、小学校と中・高等学校部会に分かれての分科会があり、その中では、平川小・流水小・宮之城高校のPTAが、それぞれ代表で研究発表を行い、その後、全体会が行われました。

全体会では、宮之城高校女子生徒による轟太鼓のアトラクションの後、現在、鹿児島市教育委員会青少年課のスクールカウンセラー「小原照子」先生の講演「今、子どもたちは…」がありました。長年にわたり、たくさん子どもたちや親の教育相談、カウンセリングをしてきている小原先生の話は、どれも具体的に、分かりやすく、また、非常に説得力があり、先行き不透明で変化の激しい今、親として、大人として、子どもたちとどう向き合い、どう関わっていけばいいのか、多くの示唆をいただきました。



小原照子先生の講演



宮之城高校女子生徒による轟太鼓